

# 令和7年度 第2回 宮崎県地域年金事業運営調整会議資料

令和8年2月13日  
於：ニューウェルシティ宮崎



日本年金機構

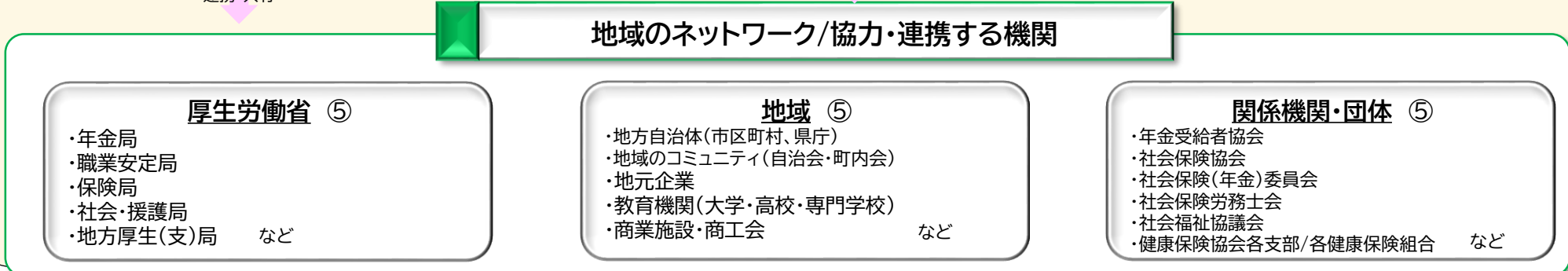
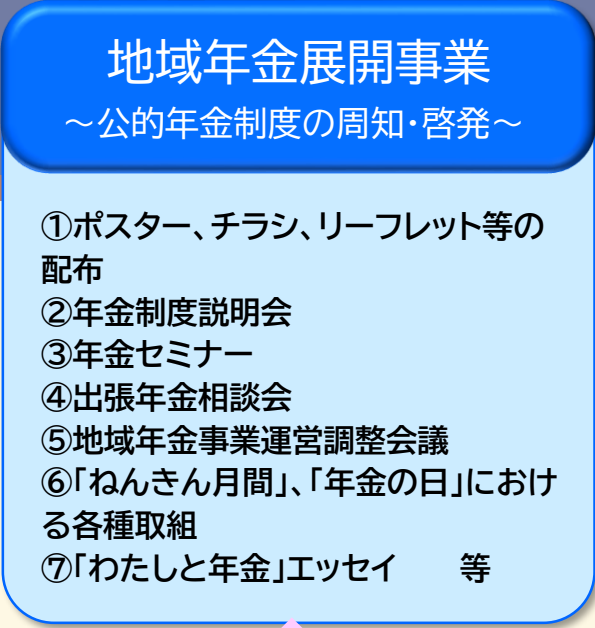
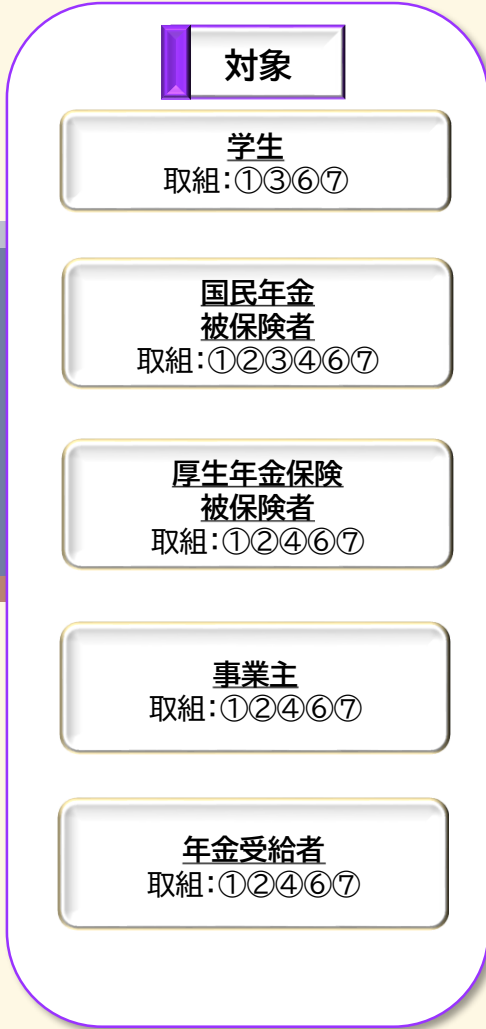
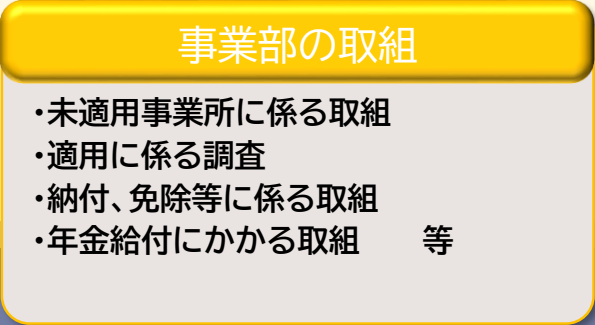
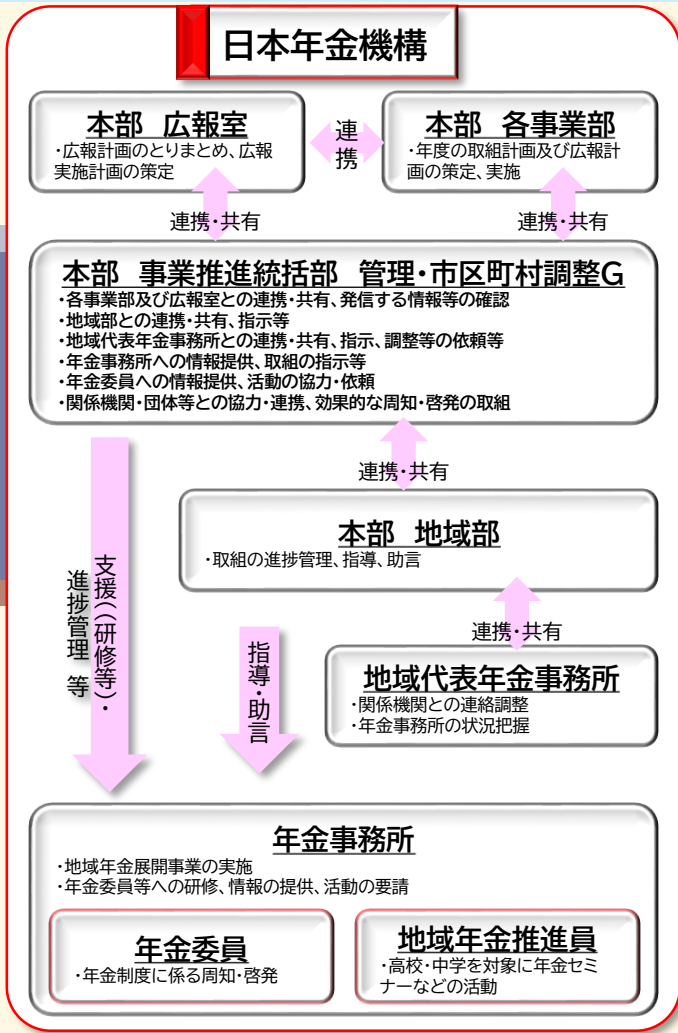
Japan Pension Service

# 目次

1. 地域年金展開事業の概要 . . . . . P 1
2. 令和7年度事業実施結果中間報告（令和7年4月～令和7年12月） . . . . . P 5
3. 令和8年度事業計画（案） . . . . . P34
4. 参考資料「わたしと年金」エッセイ入賞作品集（令和7年度） . . . . . 別冊

# 1. 地域年金展開事業の概要

# (1) 地域年金展開事業の概要



## (2) 地域年金展開事業の主な取り組み

- ◆ 公的年金制度の普及・啓発や国民年金保険料納付率の向上等のため、関係機関との連携協力のもと『年金制度説明会』や『年金セミナー』『出張年金相談』等を実施します。
- ◆ 日本年金機構が取り組む公的年金制度の普及・啓発活動について、関係者や有識者からなる『地域年金事業運営調整会議』を開催し、事業推進の意見や助言を伺います。

### 《具体的な取り組み内容》

#### 地域連携事業

- ・ 職員が自治体や民間企業、関係団体等に出向き、事務担当者や従業員向けの年金制度説明会を実施。
- ・ 市区役所・町村役場の広報誌や行事等を通じ年金制度や日本年金機構が行う事業の周知、ポスター・チラシの掲示や設置、配付の依頼等。

#### 年金セミナー事業

職員が、大学や専門学校、高校等に出向き、学生・生徒向けの年金セミナーを実施。  
大学での年金相談や学生納付特例制度の申請窓口の開設や、パンフレットの掲示や設置、配付の依頼等。

#### 地域相談事業

年金事務所から遠方の地域住民や利便性などのニーズに応えるため、市区役所・町村役場や大規模商業施設、イベント会場等で、出張年金相談や免除申請窓口を開設。

#### 年金委員活動支援事業

年金委員を対象とした研修会の開催や、各種冊子・チラシ等、活動に役立つ情報を提供。

#### 地域年金事業運営調整会議

公的年金制度の普及・啓発等についての検討や年金事務所が行う事業への意見・助言を行うため、学識経験者や関係機関等を委員として都道府県単位に設置。

## (3) 令和7年度 重点取り組み内容

全国の年金事務所は、地域、教育、企業の中での年金制度に対する理解をより深め、制度加入や保険料納付に結びつけるため、地域年金展開事業に取り組んでいるところです。

令和7年度については、制度改正を含む公的年金制度の理解を一層深めるため、教育関係機関や企業等における年金セミナー及び年金制度説明会を実施いたします。また、結果を検証し、実施内容の充実を図ることで、参加者の一層の拡大を図ることとします。

### 【重点取り組み内容】

#### 1. 若年層への制度周知

年金セミナー（20歳到達者向け説明会を含む）の実施により若年層への制度周知を図る。

⇒ 目標参加人数：2,282人（宮崎：1,094人、延岡：599人、都城：332人、高鍋：257人）

※目標参加人数の考え方  
機構全体として、目標18万人（昨年度比1万人増）を各年金事務所の適用事業者数で按分したもの

#### 2. 企業担当者向けの制度周知

企業担当者（職域型年金委員を含む）向け年金制度説明会を以下のテーマにより実施する。

- ☑ 算定基礎事務に関するもの
- ☑ 短時間労働者適用拡大に関するもの
- ☑ 育児休業に係る保険料免除等に関するもの
- ☑ 事業所調査における指摘事項の多い事例手続き等に関するもの
- ☑ 外国人を雇用する企業及び支援団体等を対象としたもの
- ☑ オンラインサービスに関するもの

⇒ 目標参加人数：3,365人（宮崎：1,464人、延岡：917人、都城：736人、高鍋：248人）

※目標参加人数の考え方  
機構全体として、目標11万人（前年度同程度以上）を各年金事務所の20歳到達者数で按分したもの

#### 3. 年金委員活動の活性化

年金委員活動に必要な情報提供を実施するとともに年金委員の委嘱拡大を図る。また、オンラインサービス及び外国人対策に関する内容を組み入れた研修を実施する。

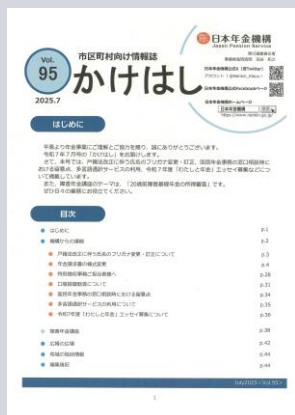
## **2. 令和7年度事業実施結果中間報告**

**(令和7年4月～令和7年12月)**

# (1) 地域連携事業

計画	実績	総括および課題
----	----	---------

## 〇チラシ・ポスター等の配布 および掲示



## 市町村や年金委員への協力依頼

年金相談のインターネット予約や、ねんきんネット利用に関するポスターの掲示およびリーフレットの設置等を依頼し、地域住民への周知広報を実施しました。

また、市区町村や年金委員に日本年金機構アニュアルレポート（年次報告書）を送付し、事業運営の状況や目標の達成状況についての報告を行いました。

市区町村職員向け情報誌「かけはし」を定期的に発行し、管内市町村へ各種取組事業のスケジュールや制度改正事項、事務処理上の留意点等について、タイムリーな情報提供を行いました。

(送付時期)

5月、7月、9月、11月、1月、3月 ※奇数月に発行

## ・「かけはし」各号の主なトピックス

ナンバー	送付月	トピックス (抜粋)
第94号	5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国民年金保険料収納業務の民間委託（市場化テスト）について</li> <li>・住基連動による死亡保留の業務スケジュールについて</li> <li>・障害年金講座（障害認定日について）</li> </ul>
第95号	7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・戸籍法改正に伴う氏名のフリガナ変更・訂正について</li> <li>・年金請求書の様式変更について</li> <li>・障害年金講座（20歳前障害基礎年金の所得審査について）</li> </ul>
第96号	9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「令和8年分公的年金等の受給者の扶養親族申告書」の電子申請サービスの開始と「扶養親族等申告書」の送付について</li> <li>・令和7年度「国民年金保険料免除・納付猶予申請書」の送付について</li> <li>・障害年金講座（請求書様式変更に伴う請求事由確認等について）</li> </ul>
第97号	11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ねんきん自動音声送付受付サービスの開始について</li> <li>・「ねんきん月間」、「年金の日」について</li> <li>・障害年金講座（生計を同じくしている子がいる場合）の請求書の添付書類と記載例について</li> </ul>

市区町村職員向け情報誌「かけはし」の活用状況等について、毎号掲載している「障害年金講座」が役立っているとの声が最も多く、障害年金関係の記事を更に充実させてほしいとの声もあるなど、あらためてニーズが高いことを踏まえ、障害年金をはじめ、その他の事項についても今後更に内容を充実させてまいります。

# 計画



# 実績

## 宮崎県内税務署との協力・連携依頼

### (リーフレットの設置)

ねんきんネットを利用することで、確定申告や年末調整に必要な「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」や「公的年金等の源泉徴収票」といった通知書の電子データを受け取ることができ、受け取った電子データは、e-Tax\*での確定申告等で利用できることから、管轄の熊本国税局を通じて宮崎県内の各税務署へ「ねんきんネットの利用促進」に関するチラシの設置依頼を行いました。

(令和7年9月)

\* 国税に関する各種手続きを、インターネット等を利用して電子的に行えるシステム

### (確定申告会場での協力・連携)

また、昨年度からの取り組みとして九州管内の国税局との協力・連携により、各地の確定申告会場に赴き、ねんきんネットの利用登録や、社会保険料（国民年金保険料）控除証明書、公的年金等の源泉徴収票の電子送付（ペーパーレス化）登録の説明を行う予定としています。(令和8年2月～3月)

※今年度は各年金事務所管内の税務署の会場を実施

# 総括および課題

ねんきんネットの利用者数は令和6年度末現在で1,335万人に到達しました。  
(令和5年度末1,098万人から237万人増)

今後も、お客様の利便性向上や当機構の事務処理の効率化を実現していくため、ねんきんネットの各種個人向けオンラインサービスについて、引き続き各種広報や年金事務所へ来所されるお客様への操作説明やリーフレットを活用した利用促進に取り組んでまいります。

なお、今回の確定申告会場での取り組みは、お客様のみならず、国税局・日本年金機構双方にメリットがあることから、今後も取り組んでまいります。

双方のメリット	
国税局	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会保険料控除証明書、公的年金等の源泉徴収票の持参が無い者の確定申告手続きの迅速化</li> <li>オンライン申告による事務の効率化</li> </ul>
日本年金機構	<ul style="list-style-type: none"> <li>ねんきんネットの利用促進</li> <li>社会保険料控除証明書、公的年金等の源泉徴収票のペーパーレス化による経費等の節減</li> </ul>

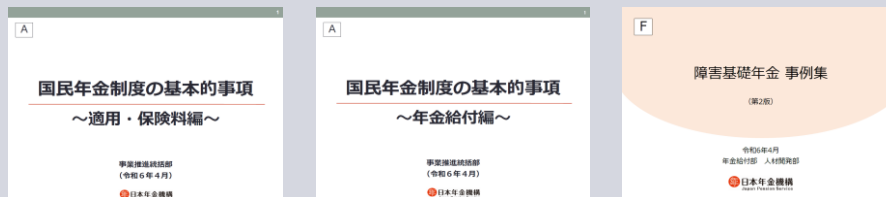
## 計画

## 実績

## 総括および課題

### ○市町村職員向け研修の実施

市町村の国民年金事務担当者（初任者、窓口担当者）への研修を実施しました。



市町村職員向けの研修は、市町村窓口でのお客様対応や法定受託事務等を正確かつ円滑に行っていただくための知識確保の機会として、大変重要なものと考えています。

今後も、市町村のニーズを踏まえながら研修の更なる充実を図ってまいります。

### ・市町村の国民年金事務担当者への研修

管轄事務所	実施日	会場	内容	参加人数
宮崎	5/13	宮崎年金事務所	事務担当者向け国民年金に関する制度、事務手続き	1名
都城	5/13	都城年金事務所	事務担当者向け国民年金に関する制度、事務手続き	12名
宮崎	5/14	宮崎年金事務所	事務担当者向け国民年金に関する制度、事務手続き	6名
都城	5/14	都城年金事務所	事務担当者向け国民年金に関する制度、事務手続き	11名
延岡	5/20	延岡年金事務所	初任者事務担当者向け国民年金に関する制度、事務手続き	8名
高鍋	5/29	高鍋年金事務所	新任担当者向け国民年金・年金給付に係る事務手続き	5名
高鍋	6/4	高鍋年金事務所	新任担当者向け国民年金・年金給付に係る事務手続き	5名
都城	10/29	都城市役所	事務担当者向け障害年金制度	3名
都城	11/5	都城市役所	事務担当者向け障害年金制度	4名
都城	12/3	都城年金事務所	新任担当者 個人向けオンラインサービス操作説明	2名
宮崎	12/9	宮崎年金事務所	事務担当者向け障害年金	3名

計画	実績	総括および課題
----	----	---------

○企業等担当者向け説明会の実施  
○関係団体との協力連携による  
公的年金制度の周知等

各年金事務所主催または県内の関係団体との協力連携により企業等担当者向け説明会を以下のテーマ（厚生年金適用関係）により実施しました。

**（主なテーマ）**

- ☑ 算定事務講習会
- ☑ 短時間労働者適用拡大
- ☑ 事業所調査における指摘事項の多い事例
- ☑ オンライン事業所年金情報サービス
- ☑ 外国人を雇用する企業及び支援団体等を対象とした年金制度

**（参加人数）**

**3,494人（4～12月）**

宮崎：1,381人、延岡：886人、都城：861人、高鍋：366人

・年金事務所主催の説明会（算定基礎届事務講習会等）

管轄事務所	実施日	会場	対象	参加人数
都城	6/12	小林市文化会館	管内事業所	40名
延岡	6/13	野口記念館	管内適用事業所（延岡地区）	70名
延岡	6/18	日向市中央公民館	管内適用事業所（日向地区）	40名
高鍋	6/18	高鍋町美術館	管内適用事業所	47名
都城	6/19	三股町文化会館	管内事業所	113名
延岡	6/20	高千穂町自然休養村管理センター	管内適用事業所（高千穂地区）	15名
宮崎	6/25	宮崎市民文化ホール	管内適用事業所（宮崎地区）	266名
宮崎	6/27	南郷ハートフルセンター文化会館	管内適用事業所（日南地区）	28名

企業担当者向け説明会（厚生年金適用関係）については、重点取り組み事項として今年度より目標参加人数を設定の上、取り組むこととしたところですが、関係団体のご協力もあり、現時点で参加人数は3,494人と目標参加人数を上回り、広く公的年金制度の周知を行うことができました。

今後もより多くの方々に参加いただけるよう取り組んでまいります。

計画

実績

総括および課題

・ 社会保険協会主催の新任社会保険事務担当者説明会

管轄事務所	開催地区	実施日	会 場	参加人数
宮崎	宮崎地区	5/9	宮崎市民文化ホール	113名
延岡	延岡地区	5/13	日向ひとものづくりセンター	27名
都城	都城地区	5/14	ウェルネス交流プラザ	55名
都城	都城地区	5/16	小林市文化会館	25名
高鍋	高鍋地区	5/20	高鍋町中央公民館	23名
宮崎	日南地区	5/21	南郷ハートフルセンター生涯学習館	17名
延岡	延岡地区	5/22	延岡市社会教育センター	60名
都城	都城地区	9/2	都城市総合文化ホール	285名
延岡	延岡地区	9/3	日向市中央公民館	187名
都城	都城地区	9/4	小林市文化会館	157名
延岡	延岡地区	9/8	高千穂町自然休養村管理センター	57名
延岡	延岡地区	9/9	野口記念館	242名
宮崎	宮崎地区	9/10	宮崎市民文化ホール	567名
宮崎	日南地区	9/11	南郷ハートフルセンター生涯学習館	119名
高鍋	高鍋地区	9/16	高鍋町中央公民館	127名
都城	都城地区	12/5	都城市総合文化ホール	20名

計画

実績

総括および課題

・宮崎県社会保険労務士会主催の説明会

管轄事務所	支部等	実施日	会場	参加人数
都城	都城支部	5/21	未来創造ステーション	45名
宮崎	宮崎支部	6/9	宮崎県トラック協会	70名

・宮崎県社会保険委員会主催の説明会

管轄事務所	支部等	実施日	会場	参加人数
宮崎	連合会	6/6	ニューウェルシティ宮崎	16名
宮崎	宮崎地区	7/3	ニューウェルシティ宮崎	10名
高鍋	高鍋地区	11/1	高鍋商工会議所	8名
延岡	高千穂地区	11/7	高千穂町自然休養村管理センター	10名
都城	都城地区	11/11	都城市ウェルネス交流プラザ	65名
延岡	延岡地区	11/13	延岡市社会教育センター	45名
延岡	日向地区	11/19	日向市中央公民館	35名
都城	小林地区	11/21	小林文化会館	39名
高鍋	高鍋地区	11/26	高鍋町美術館	32名
都城	串間地区	11/27	串間市中央公民館	17名

計画	実績				総括および課題	
<p>○その他説明会の実施</p>	<p>厚生年金適用関係のほか、以下のとおり各種説明会等を実施し、年金給付等の制度周知やオンラインサービスの周知を行いました。</p> <p>・その他説明会</p>					
	管轄事務所	実施日	会場	対象		参加人数
	宮崎	5/28	宮崎観光ホテル	一般社団法人宮崎県青色申告会会員		64名
	宮崎	6/2	宮崎中央公民館	宮崎県青色申告会連合会		30名
	宮崎	8/4	協会けんぽ宮崎支部	協会けんぽ宮崎支部職員		39名
	高鍋	8/21	高鍋信用金庫（TVシステムにて講習）	高鍋信用金庫職員		64名
	延岡	9/10	延岡市社会教育センター	九州労働金庫友の会（年金受給者）		98名
	高鍋	9/24	高鍋信用金庫	高鍋信用金庫職員		65名
	宮崎	10/27	宮崎県福祉総合センター	法人後見支援員（市民後見人）		16名
	宮崎	12/3	ハローワーク宮崎	求職者と企業の採用事務担当者		26名
<p>※都城年金事務所は、宮崎放送MRTラジオの番組にて、6/4と11/5に20分程度、制度説明とねんきんネットについて放送。</p>						

## (2) 年金セミナー事業

計画	実績	総括および課題																																				
<p>○年金セミナーの実施に向けた県内教育関係機関・各種学校への協力要請</p> 	<p>宮崎県教育庁高校教育課および義務教育課、宮崎県総合政策部みやざき文化振興課、宮崎県私学振興会等の県内教育関係機関へ、年金セミナー実施や「わたしと年金」エッセイ募集に向けた協力要請を行うとともに、県内の各種学校あて年金セミナー実施に向けた文書・訪問勧奨を実施しました。</p> <p>また、年金セミナー実施に向けた勧奨のほか、県内の大学や専門学校に対し、学生納付特例制度周知用のポスター掲示やリーフレット設置の協力依頼も行いました。</p> <p>・勧奨件数（4～12月）※文書送付件数（再掲：うち訪問件数）</p> <table border="1" data-bbox="563 825 2037 1222"> <thead> <tr> <th></th> <th>大学・短大</th> <th>専門学校</th> <th>高等学校</th> <th>特別支援学校</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮崎</td> <td>8校（0校）</td> <td>23校（4校）</td> <td>22校（14校）</td> <td>0校（0校）</td> <td>53校（18校）</td> </tr> <tr> <td>延岡</td> <td>1校（1校）</td> <td>3校（0校）</td> <td>12校（8校）</td> <td>0校（0校）</td> <td>16校（9校）</td> </tr> <tr> <td>都城</td> <td>1校（1校）</td> <td>12校（0校）</td> <td>14校（11校）</td> <td>1校（0校）</td> <td>28校（12校）</td> </tr> <tr> <td>高鍋</td> <td>0校（0校）</td> <td>4校（0校）</td> <td>3校（2校）</td> <td>0校（0校）</td> <td>7校（2校）</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10校（2校）</td> <td>42校（4校）</td> <td>51校（35校）</td> <td>1校（0校）</td> <td><b>104校（41校）</b></td> </tr> </tbody> </table>		大学・短大	専門学校	高等学校	特別支援学校	計	宮崎	8校（0校）	23校（4校）	22校（14校）	0校（0校）	53校（18校）	延岡	1校（1校）	3校（0校）	12校（8校）	0校（0校）	16校（9校）	都城	1校（1校）	12校（0校）	14校（11校）	1校（0校）	28校（12校）	高鍋	0校（0校）	4校（0校）	3校（2校）	0校（0校）	7校（2校）	合計	10校（2校）	42校（4校）	51校（35校）	1校（0校）	<b>104校（41校）</b>	<p>各学校への勧奨にあたっては、まず文書を送付後、反応のあった学校を中心に訪問による勧奨を行いました。</p> <p>今後も、文書勧奨、訪問勧奨を織り交ぜながら効果的な勧奨につとめてまいります。</p>
	大学・短大	専門学校	高等学校	特別支援学校	計																																	
宮崎	8校（0校）	23校（4校）	22校（14校）	0校（0校）	53校（18校）																																	
延岡	1校（1校）	3校（0校）	12校（8校）	0校（0校）	16校（9校）																																	
都城	1校（1校）	12校（0校）	14校（11校）	1校（0校）	28校（12校）																																	
高鍋	0校（0校）	4校（0校）	3校（2校）	0校（0校）	7校（2校）																																	
合計	10校（2校）	42校（4校）	51校（35校）	1校（0校）	<b>104校（41校）</b>																																	

## 計画

## 実績

## 総括および課題

### 〇年金セミナーの実施

#### ※目標参加人数の考え方

機構全体としての目標18万人（昨年度比1万人増）を各年金事務所の20歳到達者数で按分したものを。

年金セミナーの開催要請があった学校に対し、実施方法や時間等について事前に打ち合わせの上、年金セミナーを実施しました。

なお、実施にあたっては、各学校のご要望にあわせて、いわゆる講義形式だけでなく、ワークシート等を活用した参加型（対話型）形式も取り入れながら実施しています。

年金セミナーについては、目標参加人数を設定の上、取り組むこととしたところですが、年金セミナーの実施は、1月以降も予定されているため、全事務所が目標参加人数をクリアできるよう取り組んでまいります。

### ・セミナー実施回数及び参加人数（4～12月）

	大学・短大	専門学校	高等学校	特別支援学校	計
宮崎	0校 (0人)	5校 (347人)	3校 (257人)	0校 (0人)	8校 (604人)
延岡	1校 (38人)	0校 (0人)	2校 (201人)	0校 (0人)	3校 (239人)
都城	0校 (0人)	3校 (79人)	0校 (0人)	0校 (0人)	3校 (79人)
高鍋	0校 (0人)	1校 (28人)	0校 (0人)	0校 (0人)	1校 (28人)

### ・参加型形式で使用するワークシート（例）

・年金セミナー用動画の内容

公的年金はみんなの強い味方（全3話）



知っておきたい年金のはなし



QuizKnockによる年金クイズ動画



○地域年金推進員の委嘱

次代を担う若い世代（生徒）に対し公的年金制度の仕組みや基本理念について正しい理解の普及を推進するため、教職員OB、現役の教職員、学校との関係や生徒へ伝える能力があると拠点長が判断する者を「**地域年金推進員**」として委嘱し、個別学校訪問形式で年金セミナー等の活動を行いました。

地域年金推進員によるセミナー実施件数： 1校（4～12月）

地域年金推進員による訪問勧奨実施件数：36校（4～10月）

年金セミナーの活性化のためには、地域年金推進員の協力が極めて重要であるため

引き続き、連携を強化してまいります。

なお、宮崎県では推進員が昨年退任されたため、現在、0名となりました。今後は委嘱勧奨を進めていきます。



## 【参考1】年金セミナー開催校（4～12月）

管轄	実施日	区分	対象校	講師	参加人数
宮崎	6/3	専門学校	宮崎リハビリテーション学院	機構職員	40名
宮崎	6/24	専門学校	宮崎福祉医療カレッジ	機構職員	44名
都城	7/9	専門学校	都城リハビリテーション学院	機構職員	32名
延岡	7/9	大学・短大	九州医療科学大学	機構職員	20名
延岡	7/10	大学・短大	九州医療科学大学	機構職員	18名
都城	9/9	専門学校	小林看護医療専門学校	機構職員	24名
都城	9/25	専門学校	豊心福祉学園	機構職員	23名
宮崎	10/2	高等学校	日南学園高等学校	地域年金推進員 機構職員	150名
宮崎	11/6	高等学校	鵬翔高等学校	機構職員	77名
宮崎	11/19	高等学校	クラーク記念国際高等学校	機構職員	30名
宮崎	12/8	専門学校	宮崎ビジネス公務員専門学校	機構職員	26名
宮崎	12/11	専門学校	宮崎ビジネス公務員専門学校	機構職員	13名
延岡	12/16	高等学校	延岡学園高等学校	機構職員	201名
宮崎	12/19	専門学校	宮崎ペットワールド専門学校	機構職員	164名
宮崎	12/23	専門学校	フィオーレKOGA看護専門学校	機構職員	60名
高鍋	12/25	専門学校	児湯准看護学校	機構職員	28名

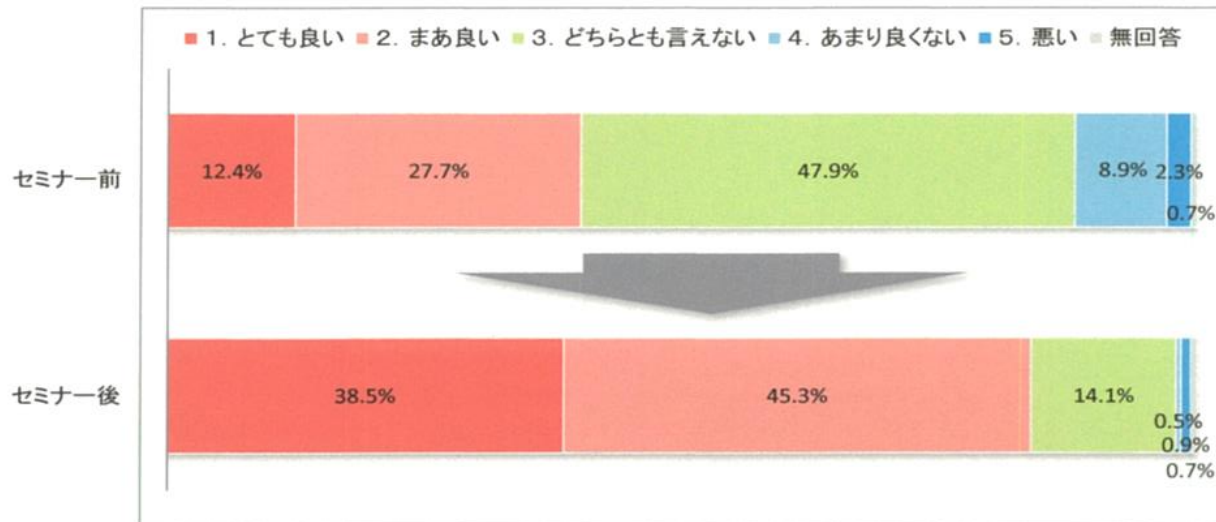
# 【参考2】年金セミナー実施後アンケート集計結果（4～11月）

※【回答数】426名（高校235名、専門学校191名）

## 1. 年金のイメージ

### ○セミナー前

選択肢	回答
1. とても良い	53件
2. まあ良い	118件
3. どちらとも言えない	204件
4. あまり良くない	38件
5. 悪い	10件
無回答	3件



### ○セミナー後

選択肢	回答
1. とても良い	164件
2. まあ良い	193件
3. どちらとも言えない	60件
4. あまり良くない	2件
5. 悪い	4件
無回答	3件

※セミナー後も「3. どちらとも言えない」「4. あまり良くない」「5. 悪い」を選択された方

選択肢	回答
1. 年金制度は複雑で難しいと感じたから	23件
2. 自分に年金の必要性を感じなかったから	1件
3. 将来、自分が年金をもらえると思えなかったから	19件
4. 年金セミナーの内容に関心を得られなかったから	4件
5. その他	10件



『まあ良い』以上の評価は、セミナー前の **40.1%** から、セミナー後は **83.8%** になりました。

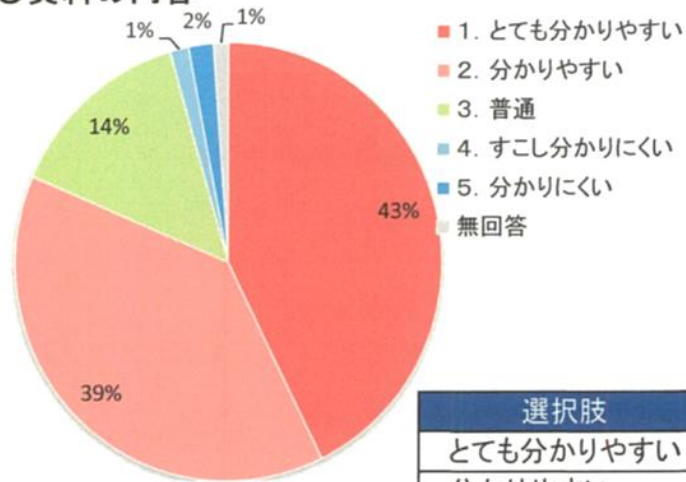
## 2. 講義について

### ○説明時間の長さ

選択肢	回答
長い	76件
ちょうど良い	342件
短い	5件
無回答	3件

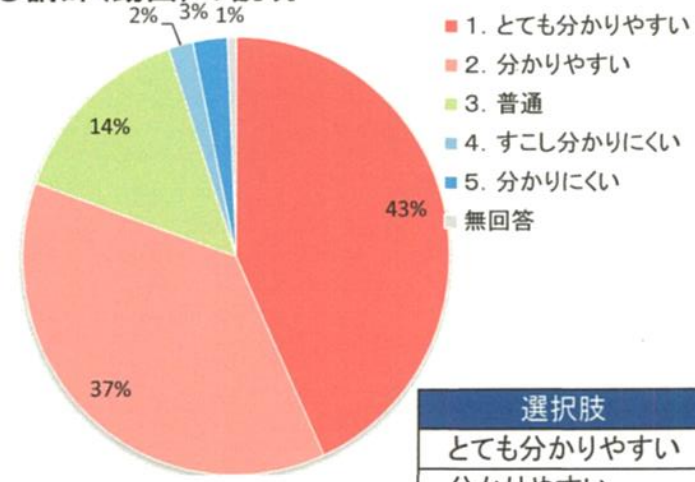


### ○資料の内容



選択肢	回答
とても分かりやすい	182件
分かりやすい	165件
普通	60件
少し分かりにくい	6件
分かりにくい	8件
無回答	5件

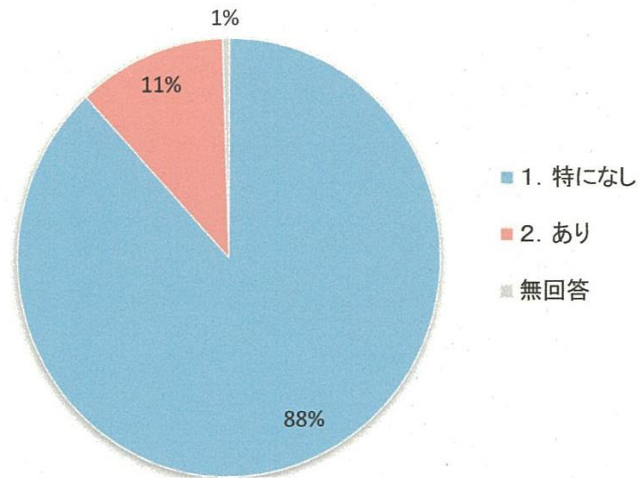
### ○講師(動画)の説明



選択肢	回答
とても分かりやすい	184件
分かりやすい	159件
普通	61件
少し分かりにくい	8件
分かりにくい	11件
無回答	3件

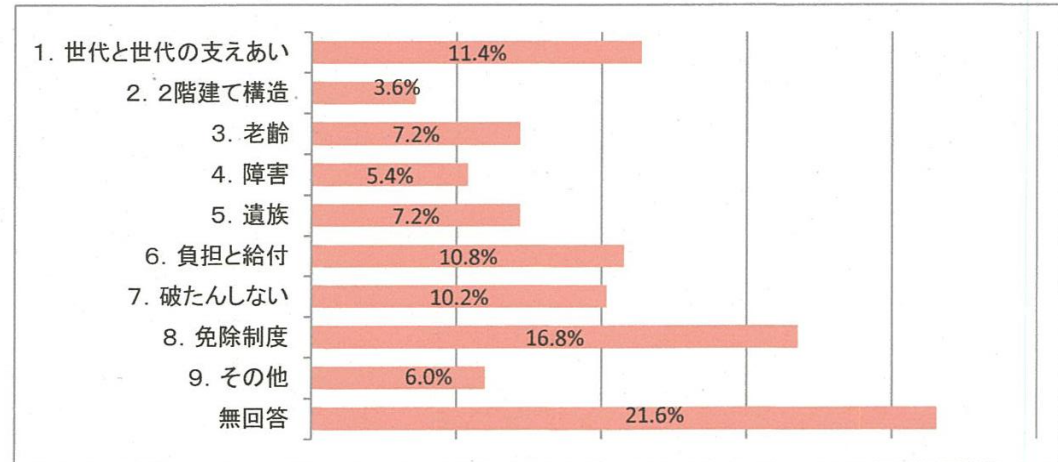
## ○詳しく説明してほしい内容の有無

選択肢	回答
特になし	644件
あり	83件
無回答	4件



### 「あり」の場合(複数回答)

選択肢	回答
世代と世代の支えあい	19件
2階建て構造	6件
老齢年金	12件
障害年金	9件
遺族年金	12件
保険料負担と給付	18件
公的年金は破綻しない	17件
保険料の免除制度	28件
その他	10件
無回答	36件

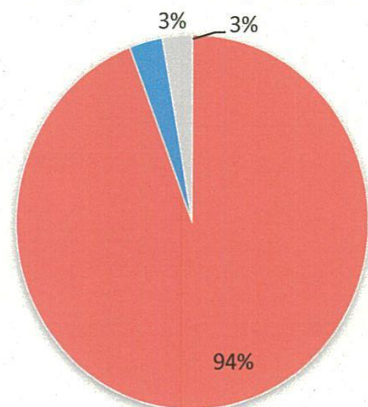


### その他の主な内容

・少子高齢化社会で支える生産年齢の人達の負担はこれからどう変化していのかと知りたいと思う。

### 3. 年金制度の理解度

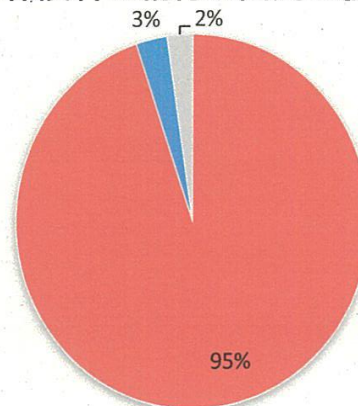
○20歳になったら国民年金に加入



- 1. 理解できた
- 2. 理解できなかった
- 無回答

選択肢	回答
理解できた	401件
理解できなかった	13件
無回答	12件

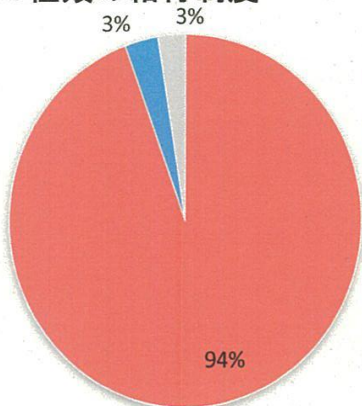
○保険料の納付は国民の義務



- 1. 理解できた
- 2. 理解できなかった
- 無回答

選択肢	回答
理解できた	399件
理解できなかった	12件
無回答	10件

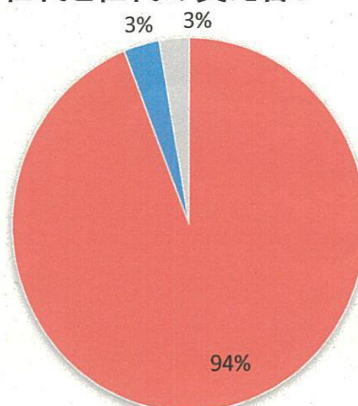
○3種類の給付制度



- 1. 理解できた
- 2. 理解できなかった
- 無回答

選択肢	回答
理解できた	402件
理解できなかった	13件
無回答	11件

○世代と世代の支え合い



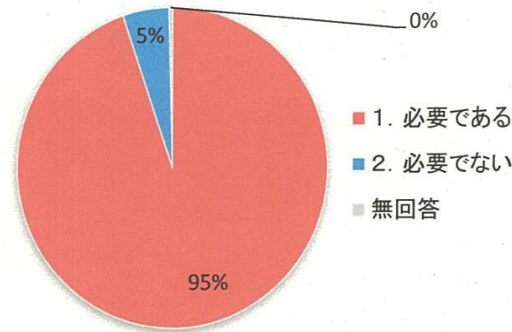
- 1. 理解できた
- 2. 理解できなかった
- 無回答

選択肢	回答
理解できた	374件
理解できなかった	13件
無回答	11件

## 4. 年金制度の必要性

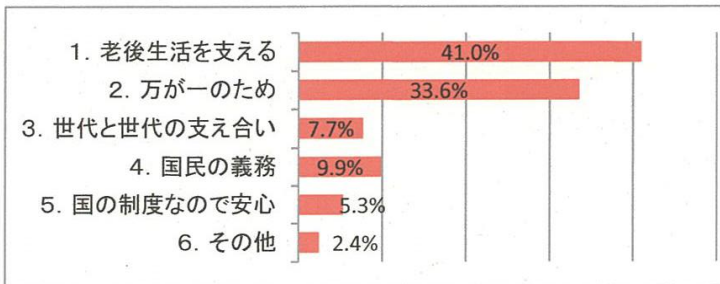
### ○年金制度は必要か

選択肢	回答
必要である	689件
必要でない	35件
無回答	3件



#### 「必要」の場合(複数回答)

選択肢	回答
老後生活を支える	537件
万が一のため	440件
世代と世代の支え合い	101件
国民の義務	130件
国の制度なので安心	70件
その他	32件

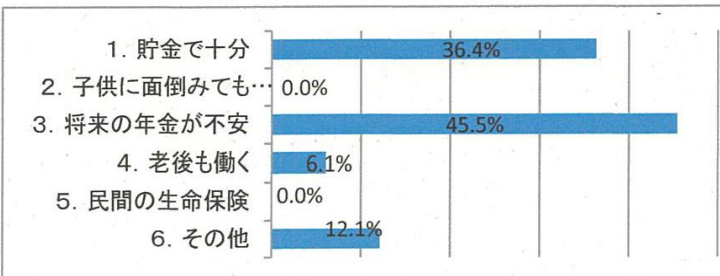


#### その他の主な内容

- ・学生のうちに知っておくべき知識なので中高生などより若い層に向けて講話をして欲しいと思った。
- ・自分の知っていることと大体あっていた。
- ・貯金も必要と思った。

#### 「必要でない」の場合(複数回答)

選択肢	回答
貯金で十分	12件
子供に面倒みてもらう	0件
将来の年金が不安	15件
老後も働く	2件
民間の生命保険	0件
その他	4件



#### その他の主な内容

- ・少子高齢化が進む中で、年金制度がこれからも続くのか不安はある。

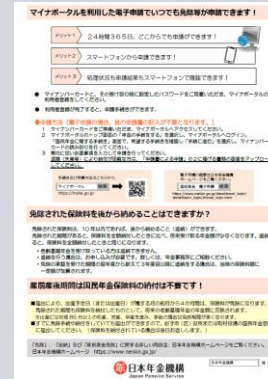
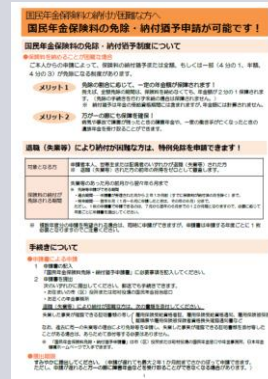
## (3) 地域相談事業

計画	実績	総括および課題																																																												
<p>○出張年金相談の実施 (市区町村、関係機関等)</p>	<p>年金事務所から遠隔地となる市町村において、以下のとおり出張年金相談を実施しました。</p> <p>・出張年金相談実施回数(4~12月)</p> <table border="1" data-bbox="591 540 2055 1221"> <thead> <tr> <th>管轄事務所</th> <th>実施予定</th> <th>市区町村</th> <th>会場</th> <th>回数(回)</th> <th>相談人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮崎</td> <td>毎月</td> <td>日南市</td> <td>日南市役所</td> <td>9回</td> <td>63名</td> </tr> <tr> <td>延岡</td> <td>毎月</td> <td>日向市</td> <td>中央公民館(11月は日向市役所)</td> <td>9回</td> <td>89名</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>毎月</td> <td>高千穂町</td> <td>高千穂町役場</td> <td>9回</td> <td>76名</td> </tr> <tr> <td>都城</td> <td>毎月</td> <td>串間市</td> <td>串間市役所</td> <td>9回</td> <td>28名</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>毎月</td> <td>小林市</td> <td>小林市役所</td> <td>9回</td> <td>45名</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>毎月</td> <td>えびの市</td> <td>えびの市役所</td> <td>9回</td> <td>42名</td> </tr> <tr> <td>高鍋</td> <td>毎月</td> <td>西都市</td> <td>西都市役所</td> <td>9回</td> <td>27名</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>年2回</td> <td>西米良村</td> <td>西米良村役場</td> <td>1回</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>-</td> <td>8市町村</td> <td>-</td> <td>64回</td> <td>372名</td> </tr> </tbody> </table>	管轄事務所	実施予定	市区町村	会場	回数(回)	相談人数	宮崎	毎月	日南市	日南市役所	9回	63名	延岡	毎月	日向市	中央公民館(11月は日向市役所)	9回	89名	〃	毎月	高千穂町	高千穂町役場	9回	76名	都城	毎月	串間市	串間市役所	9回	28名	〃	毎月	小林市	小林市役所	9回	45名	〃	毎月	えびの市	えびの市役所	9回	42名	高鍋	毎月	西都市	西都市役所	9回	27名	〃	年2回	西米良村	西米良村役場	1回	2名	合計	-	8市町村	-	64回	372名	<p>今後も住民ニーズを踏まえつつ引き続き市町村や関係機関と連携しながら実施してまいります。</p>
管轄事務所	実施予定	市区町村	会場	回数(回)	相談人数																																																									
宮崎	毎月	日南市	日南市役所	9回	63名																																																									
延岡	毎月	日向市	中央公民館(11月は日向市役所)	9回	89名																																																									
〃	毎月	高千穂町	高千穂町役場	9回	76名																																																									
都城	毎月	串間市	串間市役所	9回	28名																																																									
〃	毎月	小林市	小林市役所	9回	45名																																																									
〃	毎月	えびの市	えびの市役所	9回	42名																																																									
高鍋	毎月	西都市	西都市役所	9回	27名																																																									
〃	年2回	西米良村	西米良村役場	1回	2名																																																									
合計	-	8市町村	-	64回	372名																																																									

○ハローワーク説明会での  
国民年金手続き等の周知

宮崎県内の主要なハローワークの雇用保険受給者説明会に赴き、国民年金手続き等の周知を実施しました。

その他のハローワークに対しては、国民年金手続きに関する届書、リーフレット等の設置や窓口での配布依頼を行いました。



・ハローワークにおける国民年金手続き等の説明会実施回数

管轄事務所	実施月	会場	実施回数	参加人数
宮崎	4～12月	ハローワーク宮崎	94回 (※)	4,307名
延岡	4～12月	ハローワーク延岡	42回	1,322名
都城	4～12月	ハローワーク都城	39回	1,600名
合計	4～12月	-	175回	7,229名

※ 1日に複数回実施あり。(朝、午前、午後、夕方の最大4回)

今年度は、下記3か所すべてのハローワークにおいて、年度当初の4月から説明会での周知を実施できたことから、参加人数は、昨年度1年間の実績を上回る結果となりました。

[参加人数]

令和6年度(4～3月) 7,547名

令和7年度(4～12月) 7,229名

また、その他のハローワークにおいても可能な限りの制度周知を行うことができました。

今後も継続して取り組み、国民年金手続き等の周知を図ってまいります。

## 計画

## 実績

## 総括および課題

### ○教育機関等での 相談・受付窓口の開設



昨年度に続き、若年層への国民年金保険料収納対策として、宮崎市内の7大学へ協力要請を行い、毎月1回各大学へお伺いし、学生の皆さんへの国民年金制度の周知、国民年金保険料の納付相談や学生納付特例申請の手続きの説明・申請書受理を行いました。

実施に当たっては、大学側から全学生への相談・受付窓口開設日の周知メールの一齐送信や学内への案内板設置等、多大なるご協力をいただいています。

また、一部の大学については、保護者あての送付物に告知文書を同封いただいています。

宮崎県内とりわけ宮崎年金事務所管内の20歳到達者に係る国民年金保険料納付率は全国と比較して低い傾向にあり、国民年金保険料納付率向上に向けた対策の中でも若年層対策は喫緊の課題となっています。

今後も継続して実施することで、国民年金保険料納付率の底上げを図ってまいります。

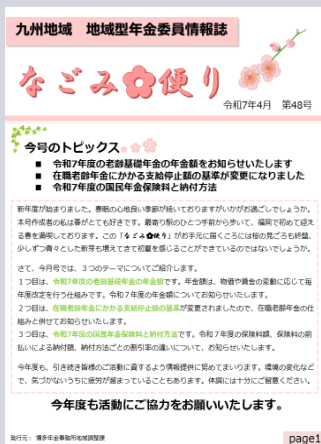
### ・宮崎市内7大学での相談・受付窓口の開設状況（4～12月）

	大学名	訪問日	国民年金加入対象者 ※学生数からの推計による参考値	学生納付特例申請 受付件数（～3月）
1	宮崎大学	毎月、第3火曜日	推計4,400人 (20歳～24歳)	275件
2	宮崎国際大学	毎月、第1水曜日	推計430人 (20歳～24歳)	49件
3	宮崎学園短期大学	毎月、第1水曜日	推計200人 (20歳)	18件
4	南九州大学 (※短期大学部含む)	毎月、第2火曜日	推計800人 (20歳～22歳)	7件
5	宮崎産業経営大学	毎月、第2木曜日	推計750人 (20歳～22歳)	8件
6	宮崎公立大学	毎月、第4木曜日	推計350人 (20歳～22歳)	113件
7	宮崎県立看護大学	毎月、第3水曜日	推計700人 (20歳～22歳)	23件

# (4) 年金委員活動支援事業

計画	実績	総括および課題
----	----	---------

## ○年金委員への情報提供



地域型年金委員へ情報誌「なごみ便り」を偶数月に隔月で送付し、情報提供を行いました。

### ・「なごみ便り」各号の主なトピックス

ナンバー	送付月	トピックス (抜粋)
第48号	4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度の老齢基礎年金の年金額をお知らせいたします</li> <li>在職老齢年金にかかる支給停止額の基準が変更になりました</li> <li>令和7年度の国民年金保険料と納付方法</li> </ul>
第49号	6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>「わたしと年金」エッセイを募集しています</li> <li>国民年金保険料の追納制度について</li> <li>地域型年金委員連絡会にぜひご参加ください</li> </ul>
第50号	8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本に居住する外国人の年金制度について</li> <li>社会保障協定の仕組み</li> <li>Facebookアカウントを開設しました</li> </ul>
第51号	10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本年金機構が送付する各種お知らせについて</li> <li>令和7年10月より健康保険の扶養の認定要件が変わります (19歳以上23歳未満)</li> <li>戸籍等に記載される氏名の振り仮名を変更する方へ</li> </ul>
第52号	12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>年金に関するお問い合わせ先をご紹介します</li> <li>ねんきんネット (マイナポータル経由) で電子申請可能な手続き</li> <li>電子版「ねんきん定期便」をご活用ください</li> </ul>

今後も引き続き、時期にあわせた内容をお届けできるよう、各種情報提供につとめてまいります。

また、日本年金機構ホームページに設置している「年金委員ページ」から年金委員の活動に必要なトピックスの発信を毎月行いました。

### 【主な掲載内容】

- 年金委員Topicsおよび年金委員活動レポート
- 年金制度説明会および年金委員研修資料・関係届書



計画	実績	総括および課題
----	----	---------

**○年金委員研修の実施**

全国年金委員研修を東京参集による集合形式及び各年金事務所参集によるオンライン形式（日本年金機構のテレビ会議システムを使用）により開催しました。

宮崎県からは地域型年金委員 1 名（宮崎管轄）と職域型年金委員 1 名（都城管轄）の計 2 名の方に東京での研修を受講していただきました。

・ **全国年金委員研修**

令和 8 年 1 月 19 日（月）～令和 8 年 1 月 20 日（火）

日本年金機構研修センター（東京都港区）

・ **地域における年金委員研修**

管轄事務所	実施日	対象者	会場	内容	参加人数
県内合同	6/19	地域型年金委員	宮崎年金事務所 (県内各年金事務所へTV配信)	・ 国民年金基金の制度概要 ・ 県内の公的年金の動向	26名
都城	7/18	職域型年金委員	ホテル中山荘	・ 事業所向けオンラインサービス ・ 社会保険事務について	15名
延岡	7/29	職域型年金委員	向陽クラブ	・ 事業所向けオンラインサービス ・ 外国人雇用の制度説明	15名
高鍋	8/6	職域型年金委員	高鍋商工会議所中ホール	・ 事業所向けオンラインサービス ・ 外国人雇用の制度説明	6名
延岡	7/29	職域型年金委員	向陽クラブ	・ 事業所向けオンラインサービス ・ 外国人雇用の制度説明	15名
都城	9/22	職域型年金委員	ホテル中山荘	・ 年金制度改正	12名
延岡	11/5	職域型年金委員	日向市中央公民館	・ 事業所向けオンラインサービス ・ 在職高齢年金の制度説明	38名
延岡	11/6	職域型年金委員	高千穂町自然休養村管理センター	・ 事業所向けオンラインサービス ・ 外国人雇用の制度説明	10名
高鍋	11/7	職域型年金委員	高鍋商工会議所中ホール	・ 事業所向けオンラインサービス ・ 適用拡大の説明	8名
延岡	11/18	職域型年金委員	延岡市社会教育センター	・ 事業所向けオンラインサービス ・ 外国人雇用の制度説明	56名
高鍋	11/19	職域型年金委員	高鍋美術館	・ 事業所向けオンラインサービス ・ 外国人雇用の制度説明、法改正	25名
県内合同	11/20	地域型年金委員	宮崎年金事務所 (県内各年金事務所へTV配信)	・ 高齢年金の繰上げ・繰下げ ・ 国民年金保険料免除制度	27名

年金委員の活動は、職場や地域における制度周知・理解に欠かせないことから、各種情報提供や研修の実施等により、今後もしっかりとその活動をサポートしてまいります。

# 計画

# 実績

# 総括および課題

## ○年金委員委嘱数拡大

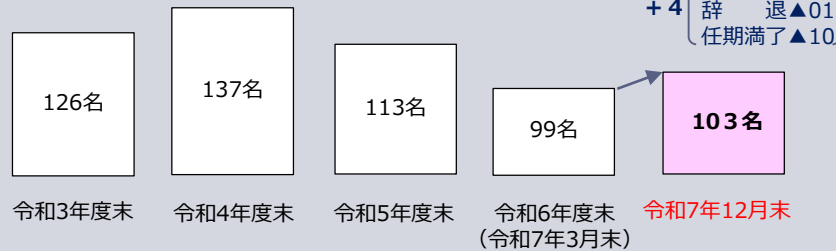
年金委員の推薦・委嘱について、事業所規模を限定せず、機構職員OBや市町村職員OB、民生委員等への協力依頼を行いました。

結果として、地域型については、新規で15名の委嘱を行うことができましたが、辞退1名、任期満了10名により昨年度末の委嘱数からは4名のプラスとなりました。

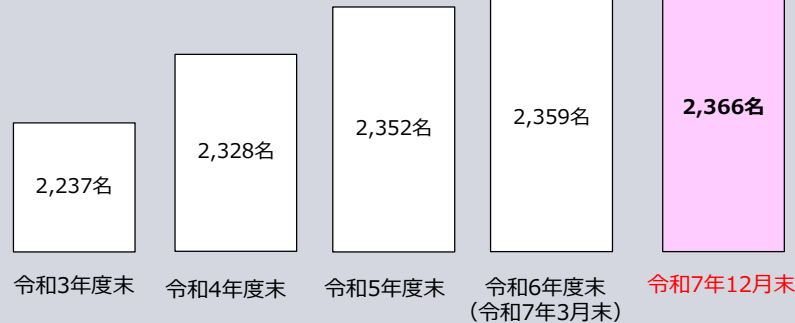
職域型については、昨年度末の委嘱数から7名のプラスとなりました。

### ・宮崎県における委嘱数の推移

#### [地域型年金委員]



#### [職域型年金委員]



**年金委員募集中!**

年金委員とは、厚生労働大臣の委嘱により、会社内において年金制度の啓発・相談・助産などの活動を行う民間協力員です。手続きが完了すると、**厚生労働大臣**で委嘱状が手元に届きます。

従業員への各種手続の助産・相談や、日本年金機構からお送りするパンフレットを社内掲示板等を利用してお伝えいただけます。

費用はかかりません。なお、報酬はありませんが、活動を行うための経費は日本年金機構が負担します（負担の範囲は、日本年金機構の規程に基づきます）。

**年金委員になるメリット**

- 【1】制度改正のお知らせ  
定期的なお知らせを無料で受けられ、制度改正などの情報を、いち早く知ることができます。
- 【2】研修会に無料参加  
年金委員限定の制度改正等の研修会に無料で参加できます。
- 【3】表彰制度  
活動の功績に対して、厚生労働大臣や日本年金機構理事長からの表彰制度があります。

## [地域型年金委員]

地域型年金委員については、もともと高齢の委員が多く、3年間の任期満了を機に高齢を理由として継続を辞退する方が相次ぎ委嘱数は減少傾向にあります。

しかしながら、昨年度からは日本年金機構全体の方針として、委嘱拡大対象を機構職員OBや市町村職員OB、民生委員等に絞り、誰を委嘱するかを重視して取り組んでおり、同方針に従い新規で15名の委嘱を行うことができました。

なお、地域型年金委員連絡会への出席人数は昨年度以降も減少しておらず、一定数を維持できているところです。

## [職域型年金委員]

職域型年金委員については、より多くの方に年金制度の周知・啓発していただくために事業所規模を限定しないで委嘱拡大を行ってきました。今後も新規適用の事業所や調査等での協力要請に取り組んでまいります。

## 計画

## 実績

## 総括および課題

### ○地域型年金委員連絡会の開催 (半期に1回)

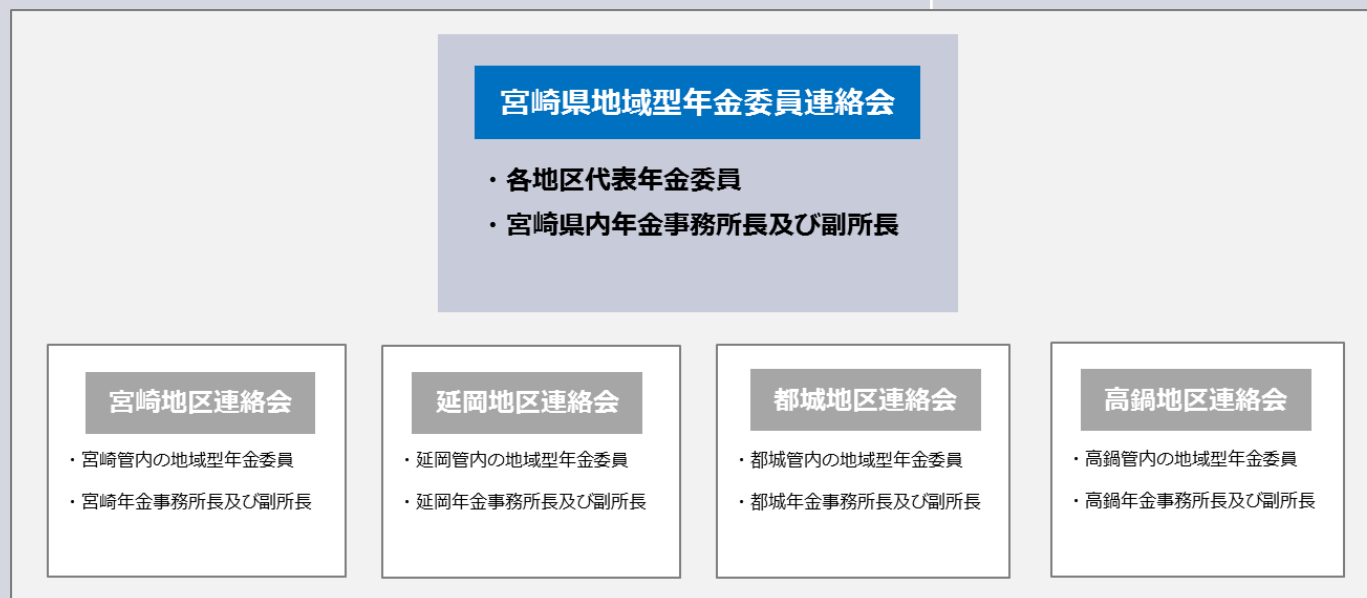
宮崎県内の地域型年金委員および年金事務所職員によって構成される「宮崎県地域型年金委員連絡会・地区連絡会」を開催し、制度改正事項の研修や、地域型年金委員の活動内容についての協議、意見交換を行いました。

今後も定期的に行い、地域型年金委員相互の情報共有を図り、年金委員活動を組織的に活性化させてまいります。



実施時期	実施日	地域型年金委員出席人数	主な議題
上期	6/19	31名 (宮崎12名、延岡10名、都城5名、高鍋4名)	令和7年度の取り組み方針及び研修会 ・オンラインサービスについて ・県内の外国人状況及び年金制度周知について
下期	11/20	33名 (宮崎12名、延岡10名、都城6名、高鍋5名)	上期の取り組み結果及び下期の途中経過報告 研修会 ・年金制度及び年金受給について

### 【参考】宮崎県地域型年金委員連絡会・地区連絡会の構成



# (5) 「ねんきん月間」 および「年金の日」

## 計画

### ○公的年金制度の啓発活動

11月の「ねんきん月間」中、日本年金機構公式X（旧Twitter）にて、「**知っておきたい年金のはなし**」と題して、公的年金制度や手続きをわかりやすく案内し、機構ホームページの詳細説明ページや厚生労働省YouTubeへの誘導を行いました。



また、日本年金機構ホームページに「ねんきん月間」特設ページを設置し、若年世代をターゲットにわかりやすく年金制度を学べるよう、既存の年金制度説明動画等の案内をして、駅または公共施設など利用者が多いところに、ポスター掲示やリーフレット設置を行いました。

### ○「年金の日」年金相談等の実施



今年度の年金の日（11月30日（日））においては、全国の年金事務所を開所し年金相談等を実施しました。

#### ・11月30日（日）の相談人数

	年金相談
宮崎	6名
延岡	4名
都城	5名
高鍋	6名

## 実績

## 総括および課題



「ねんきん月間」は国民の皆さまに、公的年金制度を身近に感じ、理解を深めていただく機会です。

来年度もこの機会を活かして、公的年金制度の周知・啓発に継続して取り組んでまいります。

## 計画

## 実績

## 総括および課題

### ○「わたしと年金」エッセイの募集

11月の「ねんきん月間」にあわせ、公的年金の大切さや意義と一緒に考えていくため、6月から9月にかけて中学生以上の生徒・学生・一般の方々を対象に、ご自身やご家族などの身近な方と公的年金制度とのかかわり = 「わたしと年金」をテーマとしたエッセイの募集を行いました。



令和7年度は全国から1,987件の応募があり、宮崎県内からは2件の応募がありました。

令和8年度は、年金セミナー実施校を中心に各学校への協力要請や入賞作品集の送付など広報活動を実施してまいります。

### ○年金委員表彰

全国健康保険協会との共催により、「令和7年度 年金委員・健康保険委員 功労者表彰式」を開催しました。

日時：令和7年11月11日（火）14時～15時

場所：ニューウェルシティ宮崎2階 霧島の間

（年金委員表彰者数）

日本年金機構理事長表彰 1名、 日本年金機構理事表彰 4名



※写真の掲載については、ご本人の了承をいただいています。

## 計画

## 実績

## 総括および課題

### ○「こども絵画展」の実施

11月の「ねんきん月間」の新たな取り組みとして、「家族で年金を考えてみる（世代間の支えあい）」をテーマに「こども絵画展」を開催し、年金事務所のロビー等で展示しました。また、絵画を提出した幼稚園児・保育園児等への賞状授与や保護者を対象にした年金セミナーを開催しました。

今後も引き続き実施することで、幅広い世代に公的年金制度の啓発・周知につとめてまいります。



年金事務所	実施日	参加保育園名	参考資料
宮崎	11/1	どうめき保育園	保育園児の絵画、ぬりえ 15名
都城	11/1	一万城保育園	保育園児の絵画、ぬりえ 30名



※写真の掲載については、ご本人および保護者の了承をいただいています。

## (6) 地域年金事業運営調整会議

計画	実績			総括および課題
○地域年金事業運営調整会議 の開催（年2回）	令和7年度地域年金事業運営調整会議を以下のとおり対面により開催しました。			委員の皆さまの貴重なご意見をしっかりと事業に活かせるよう引き続き取り組んでまいります。  ※前回会議でのご意見と対応状況については次頁を参照
	会議	実施日	主な議題	参考資料
	令和7年度 第1回	8/7	令和6年度事業実施結果の報告 令和7年度事業計画	令和6年度における主な事業の取り組み状況
	令和7年度 第2回	2/13	令和7年度事業実施結果中間報告 令和8年度事業計画（案）	「わたしと年金」エッセイ 入賞作品

## 【前回会議でのご意見と対応状況】

ご意見	対応
<p>1 (令和7年度第1回・令和7年8月7日)</p> <p>事業所へ職域型年金委員の委嘱拡大を図るとあるが、今後の適用拡大を見据えたところ、年金に入るメリットを伝えていくための橋渡しとして、この職域型年金委員の方を選任して、よく理解を得たうえで適用拡大を進めていくというのがよりスムーズではないか。</p>	<p>(令和8年2月13日回答)</p> <p>当機構でも職域型年金委員の活動は、重要と考えております。職域型年金委員が適用事業所の事業主や被保険者に対し、年金制度の普及啓発活動を行うこととなるため、適用前に選任できませんが、より多くの方に年金制度の周知・啓発をしていただくために、引き続き事業所規模を限定せずに、新規適用手続き等で来訪された事業所への勧奨や事業所調査、制度説明会などにおける協力要請の実施、または、前任者の退職や人事異動時における後任者の推薦依頼の徹底など、委嘱拡大の勧奨に努めてまいります。また、年金委員の活動は、職場や地域における制度周知・理解に欠かせないことから、各種情報提供や研修の実施等により、今後もしっかりとその活動をサポートしてまいります。</p>
<p>2 (令和7年度第1回・令和7年8月7日)</p> <p>各年金事務所における公的年金制度の普及啓発活動の実施ということで、ねんきんネットの説明と登録を実際にスマートフォンを操作しながら一緒に登録する方法を、時期的に源泉徴収票が欲しいというような受給者の方がいる場合など地道にこういう形で普及活動をされるというのが、最終的にはねんきんネットの普及につながるのではないか。</p>	<p>(令和8年2月13日回答)</p> <p>お客様の手続き負担の軽減と当機構の事務処理の効率化を実現していくため、ねんきんネットの利用促進に係る取り組みは、重要と考えております。ねんきんネットの利用者数は年々増加しており、これまで実施してきた取り組みに係る課題の検証等を行うなど、更に効果的な利用拡大を図るための方策を検討してまいります。</p> <p>各年金事務所管内の税務署の協力・連携により、確定申告会場でのねんきんネットの利用登録や操作説明など利用促進に取り組んでまいります。</p>
<p>3 (令和7年度第1回・令和7年8月7日)</p> <p>年金エッセイの件について、応募数が宮崎県は0件~1件と何年か続いていて少ないので、提案として学校側の優先順位を上げていただくということも含めて単年度の依頼ではなくて2年後、3年後のほうを見据えて依頼をかけていったらどうか。少し地域や対象校を絞って1つどこかの学校を成功事例として1個作っていただくというような取り組みも必要ではないか。</p>	<p>(令和8年2月13日回答)</p> <p>「わたしと年金」エッセイ募集にあたっては、県政記者クラブへのプレスリリースや県の教育機関及び各学校への協力依頼、年金委員からの職場や地域への周知依頼、市町村・関係機関への周知依頼などの広報活動を行い、結果として宮崎県内では2名の方から応募をいただくことができました。</p> <p>ご意見を踏まえ、エッセイ募集にあたっては、年金セミナー実施する学校等に協力要請や過去の受賞作品のアニメーション動画の案内などの広報活動を継続して実施してまいります。</p>

# 3. 令和8年度事業計画（案）

# (1) 地域連携事業携

正しい年金制度の知識や手続き、制度改正等の情報等を地域において周知することは、地域年金展開事業の核となる重要な取り組みであるため、市町村、自治会、事業所、関係団体（年金協会、社会保険労務士会、社会保険委員会、社会保険協会等）等と連携し、地域に根付いた情報提供活動を積極的に実施する。

## 1. チラシ・ポスター等の配布および掲示

- ・地域住民の身近な窓口である市役所や町役場を中心に、関係機関や関係団体の窓口にもポスターやリーフレットを設置。
- ・地域住民や会員の情報収集ツールである市報や会報等に年金制度や出張年金相談に関する記事を掲載。
- ・市区町村担当職員向け情報誌「かけはし」を配布。

## 2. 年金制度説明会

- ・自治体等関係機関（団体）との協力連携を図り、年金制度説明会を実施。

## 3. 地域年金事業運営調整会議の参画機関等との連携による周知・啓発

## 4. 関係団体との協力連携による公的年金制度の周知等

- ・自治会、町内会、社会福祉協議会等を通じての公的年金制度の周知・啓発活動を実施。
- ・関係団体の職（会）員への研修や商工会議所等のシニアプラン説明会等を実施し、協力・連携体制を強化。

## (2) 年金セミナー事業

年金セミナー事業は、学生・生徒等の若年層に対して、年金制度の正しい知識や手続きを理解していただき、年金制度が身近で重要なものであることを学んでいただくための地域年金展開事業の核となる重要な取り組みであるため、更なる拡充に向けて積極的に取り組む。

また、引き続き若手職員を中心とした講師の育成を進めるとともに、受講者に応じた教材の見直しを進め、更なる充実を図る。

### 1. 年金セミナー実施に向けたアプローチ

- ・職員が大学・専門学校・高校等に出向き、年金セミナーの実施や「わたしと年金」エッセイ募集の要請を積極的に行う。
- ・県教育委員会や県立・私立高等学校長会および県中学校長会等に対し、学校現場での年金セミナー実施や「わたしと年金」エッセイ募集に関する通知の発出等の協力依頼を行う。

### 2. 年金セミナーの実施および充実化

- ・地域年金推進員を委嘱・活用し、次世代を担う生徒に対し、公的年金制度の仕組みや基本理念、正しい理解の普及を推進するため、個別学校訪問形式による年金セミナーを開催する。
- ・年金セミナー実施後のアンケート結果や先生方のご意見等および学校側からの要請に基づき、実施形式を工夫する。(実施にあたり、教材やワークショップ形式等開催形式を工夫。)
- ・大学で実施した場合、可能な限り学生納付特例申請書の受付を行う。

### 3. 大学や専門学校の窓口へのリーフレット等の設置

学生の身近な窓口である大学や専門学校の窓口にはポスターやリーフレットを設置する。

## (3) 地域相談事業

各年金事務所が主体となり、市役所・町村役場、自治会、大学、事業所、ハローワーク、ジョブカフェ、商業施設等において出張年金相談（学生納付特例申請窓口、免除申請窓口含む）を実施する。

### 1. 自治体（市町村）

年金事務所より遠隔地の市町村に赴き、年金制度説明会や出張年金相談を実施。

### 2. 労働局関係等（ハローワーク）

ハローワークの雇用保険受給者説明会で国民年金手続き等の周知を実施。

### 3. 企業・団体等

事業所等に赴き、年金制度説明会を実施。

### 4. 民間施設等（公共施設並びに商業施設）

ねんきん月間、年金の日（11月30日）にあわせて年金事務所や大規模商業施設での年金相談会を実施。

### 5. 教育機関等（大学、専門学校）

大学等に赴き、主に学生納付特例制度にかかる相談・受付窓口を開設。

### 6. 社会福祉施設等（特別支援学校、養護施設）

特別支援学校や養護施設等に赴き、職員や保護者に対し障害年金等を含めた年金制度説明会を実施。

### 7. 街角の年金相談センター宮崎（オフィス）の周知

## (4) 年金委員活動の活性化・委嘱拡大

年金委員活動の活性化とその委嘱拡大を最重要課題と位置づけ、定期連絡会や年金委員研修等による情報発信の充実を図り、年金委員の活動に必要な情報提供を十分に行うとともに、委嘱拡大に努める。

### 1. 定期的な研修会・意見交換会の実施

- ・厚生労働省大臣官房年金管理審議官通知に基づき、制度改正事項、重点協力依頼事項を中心とした研修および意見交換会を実施する。
- ・地域型年金委員連絡会を半期に1回開催し、地域型年金委員の組織的活動の活性化を図る。

### 2. 年金委員への情報提供および制度周知等への協力依頼

- ・「年金委員活動の手引き」や「なごみ便り」（地域型のみ）を送付し活動を支援する。
- ・啓発資料（「アニュアルレポート」「退職後の年金手続きガイド」等）を送付するなど、積極的に情報提供を行う。
- ・日本年金機構ホームページ（年金委員のページ）を充実させる。
- ・職域型年金委員による企業内での制度周知を依頼する。
- ・地域型年金委員による地域住民へのチラシ配布等による制度周知と情報提供を依頼する。

### 3. 委嘱数拡大に向けた取り組み

- ・関係団体との連携・協力により事業所への研修会での年金制度説明とあわせて年金委員制度の周知を図る。
- ・年金委員未設置事業所（主に被保険者50名以上の事業所）へ推薦依頼文書を送付し、職域型年金委員の委嘱拡大を図る。
- ・地域型年金委員については、高齢者や生活困窮者、若年者への幅広い周知・啓発等の年金委員活動を展開するため、機構職員OBや市区町村関係、教育機関職員（OB含む）の新規委嘱に取り組む。

## (5) 「ねんきん月間」および「年金の日」における取り組み

11月の「ねんきん月間」や11月30日（いいみらい）の「年金の日」において、各年金事務所が創意工夫し、公的年金制度の普及・啓発活動および国民年金保険料収納対策を積極的に実施する。

### 1. 年金委員功労者表彰式の開催

### 2. 各年金事務所における公的年金制度の普及・啓発活動の実施

公的年金制度の普及・啓発活動とあわせて「ねんきんネット」等の普及を促進する。

### 3. 「わたしと年金」エッセイ募集

年金制度の意義や公的年金制度と国民の結びつきなどについて考えていただくため、自身や、家族等の身近な方と公的年金制度との関わりについてエッセイを募集する。

### 4. 「こども絵画展」や「年金ポスターコンクール」の開催

幼稚園児・保育園児から小学校低学年生が創作した絵画を募集して展示し、多くのお客様に鑑賞していただくとともに、作品を提出したこどもへの賞状授与及びその保護者へのねんきん教室（ご家族への年金セミナー）を開催し、ご家族で年金について考えていただく機会とする。

## (6) 地域年金事業運営調整会議

地域、教育、企業の中で公的年金制度に対する理解をより深め、世代・年齢、地域・職域を超えた社会連帯を図ることを目的に、有識者や関係機関、関係団体等の民間委員から構成される「地域年金事業運営調整会議」を開催し、地域に密着した公的年金制度の周知方法や納付率向上策等について意見交換を行う。

### 1. 開催時期（予定）

令和8年8月および令和9年2月（年2回）

### 2. 主な議事（予定）

令和8年8月 令和7年度事業実施結果報告、令和8年度事業計画

令和9年2月 令和7年度事業実施結果中間報告（4～12月）、令和9年度事業計画（案）





**日本年金機構**

Japan Pension Service